

グローバル経済に関する歴史研究

関連キーワード: グローバル経済、イギリス、ロンドン・シティ、「非公式帝国」

研究内容

19世紀末、イギリスは「世界の工場」としての地位をアメリカ合衆国やドイツに譲る一方で、「世界の銀行」としての地位を確立し、「成熟債権国」としての繁栄を謳歌しました。イギリスの金融街であるロンドン・シティから世界各地に放出された資金や金融的知識・技術は、その後の世界の政治・経済的配列や展開を決定づけるほどのインパクトをもったとされます。イギリスを中心に編成されたグローバル経済の構造と特質、およびその盛衰について、「非公式帝国」論に基づいた分析を行っています。



ロンドンの金融街

研究者プロフィール

- ・経済学部 経済学科 教授 佐藤 純
- ・専門分野 イギリス帝国経済史
- ・研究分野 「非公式帝国」に関する研究
- ・所属学会 社会経済史学会
日本西洋史学会
政治経済学・経済史学会

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

グローバル経済の基本的知識を身に着けることは、どのような企業で働く人にとっても重要なことだと思います。講演やセミナー等の場を通して、これらの知識を分かりやすく教えることが可能です。なお、講義やセミナーは、グローバル経済の現状に関する実践的知識（カネになる情報）ではなく、歴史的な知識を習得することが目的となります。

研究者への連絡先

産学連携推進センター

Email srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

電話 022-354-8122